

北薩保健医療圏地域医療構想調整会議の開催状況

＜調整会議＞
令和元年度

通算開催回	日時・場所	会議名	協議内容等
第7回	令和元年7月30日(火) 19:00～20:45 川薩保健所	令和元年度 第1回調整会議	(1)公立病院及び公的医療機関等2025プラン対象医療機関計画の進捗状況について (2)休棟・休床のある医療機関における各医療機関機能別専門部会の協議結果について (3)令和元年度北薩地域保健医療圏地域医療構想調整会議の進め方 (4)その他 ・地域医療介護総合確保基金事業補助金について
第8回	令和元年12月3日(火) 19:00～20:30 川薩保健所	令和元年度 第2回調整会議	(1)公立病院及び公的医療機関等2025プラン対象医療機関・個別の医療機関計画の進捗状況について (2)圏域の外来医療計画検討内容報告書について (3)県地域医療構想調整会議 病床機能報告における定量的基準について (4)公立・公的医療機関等の診療実績データ分析結果について (5)その他 ・地域医療介護総合確保基金事業補助金の活用について
第9回	令和2年2月12日(水) 19:00～20:00 川薩保健所	令和元年度 第3回調整会議	(1)令和元年度地域医療構想調整会議の開催状況について (2)県医師確保計画(案)について (3)県外来医療計画(案)について (4)各保健医療圏病床機能別専門部会における協議結果について(公的医療機関に準ずる医療機関の2025計画を含む) (5)令和2年度地域医療構想に関する調査票について (6)重点支援区域について

＜専門部会＞
川薩保健医療圏

部会名	日時・場所	会議名	協議内容等
高度急性期・急性期、回復期、慢性期合同部会	令和元年6月26日(水) 19:00～20:00 川薩保健所	第1回 高度急性期・急性期、回復期、慢性期合同部会	(1)休棟・休床のある医療機関における2025計画について (2)協議の進め方について
高度急性期・急性期、回復期、慢性期合同部会	令和元年10月8日(火) 19:00～20:30 川薩保健所	第2回 高度急性期・急性期、回復期、慢性期、在宅医療合同部会	(1)個別の医療機関等の2025計画について (2)外来医療計画検討内容報告書について
高度急性期・急性期、回復期、慢性期合同部会	令和2年2月4日(火) 19:00～20:30 川薩保健所	第3回 高度急性期・急性期、回復期、慢性期、在宅医療合同部会	(1)個別の医療機関等2025計画について (2)令和2年度地域医療構想に関する現状把握のための調査票について

<専門部会>
出水保健医療圏

部会名	日時・場所	会議名	協議内容等
高度急性期・急性期, 回復期, 慢性期合同部会	令和元年6月12日(水) 19:00~20:00 出水郡医師会立第二病院	病床機能別専門部会	(1)新公立病院改革プラン及び公的医療機関等2025プランの進捗状況について ・出水総合医療センター, 出水郡医師会広域医療センター (2)協議の進め方について
高度急性期・急性期, 回復期, 慢性期合同部会	令和元年10月3日(火) 19:00~20:30 出水郡医師会立第二病院	病床機能別専門部会	(1)個別の医療機関等2025計画について (2)外来医療計画検討内容報告書について
高度急性期・急性期, 回復期, 慢性期合同部会	令和2年2月7日(金) 19:00~20:30 出水郡医師会立第二病院	病床機能別専門部会	(1)令和2年度地域医療構想に関する現状把握のための調査票について

調整会議における決定事項

1 (H29年度)	<p>病院の開設等の許可申請があった場合の対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院の開設許可が申請があった場合における「地域の医療提供体制に影響を与える申請内 ・「その他, 調整会議議長が必要と認めるもの」の条件を追加する。 ・病床機能を転換する場合についても, 開設と同様, 調整会議への出席と理由説明を求める。
(H29年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・専門部会の設置については, 病床機能別として, 高度急性期・急性期専門部会, 回復期専門部会, 慢性期専門部会, 在宅医療専門部会を, 疾患別として, 脳卒中専門部会, 急性心筋梗塞専門部会, がん専門部会を設置し, それぞれの専門部会で機能別, 疾患別に必要な役割や機能について検討し, 協議結果を調整会議に報告する。

調整会議における主な意見

<令和元年度>

<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性を加味し, 病院の医療機能の重複, 分担等について確認し, 統合・再編の必要性を見極めるべきである。 ・2つの医療機関の統合を考える場合, すべての機能を両医療機関で役割分担すると疾病が合併している場合など対応できない。一定程度ずつは両医療機関で担うことができなければ地域医療として住民に迷惑がかかることとなることを理解してほしい。 ・地域に密着した医療は, 複数医療機関で行う必要がある。 ・機能分担すると患者が医療機関を行ったり来たりするため現実的ではない。1つに統合することもいいと思うが, 行政も資金の投入など支援していただき, 広い視野で考えていく必要がある。 ・慢性期の病床が過剰ということを認識しているが, 介護療養病床から医療療養病床に転換可能かを確認したい。 ・医師会で看護学校・准看護学校を運営しており, 基金の活用方法について検討したい。 ・さつま町の人口減少, 高齢化率40%, 独居老人世帯の増加等を考えると末期の心不全, 呼吸不全など医療依存度の高い患者が増加すると考えられ, そのような患者の受け皿として慢性期病棟は必ず必要である。医師会病院の性質上, 開業医からの紹介先として重要な役割を担っており, 慢性期病棟は必要であると考えている。了解いただきたい。
--